



女性の健康コラム

もう妊娠したくはないけど、月経でお困りの方へ



皆さんこんにちは！産婦人科 宮川三代子です。

今回は、過多月経（月経量が異常に多い）月経困難症（生理痛）でお困りの方へ、「LNG-IUS（子宮内黄体ホルモン放出システム）以上“IUS”→写真①」のご紹介です。

「IUS」とは、女性ホルモンのひとつである「黄体ホルモン」を子宮の中で持続的に放出する「子宮内システム」のことを指します。

現在、世界130国以上で使用されている医薬品器具で、黄体ホルモンを出す柔らかいプラスチック（3センチ）からできています。

この医薬品器具には避妊効果があるため、以前は避妊のためにのみ使われていましたが、ある避妊目的で使用していた方

の月経が少なくなって、月経量も減ったという事例があったために、過多月経や月経困難症の治療が保険診療ができるようになりました。

余談ですが、現在、40代女性の人工妊娠中絶実施率が高い事をご存じですか？

日本で行われる中絶実施数を件数だけでみると、20代から30代前半の女性が多いのですが、妊娠をした場合の人工妊娠中絶率は40代以降が一番多く、43%の方が中絶を選択されているのです。その原因として「月経が不順になってきているし、もう妊娠しないだろう。」そう思われて妊娠される例が多いのです。

（ちなみに一般的な使用によるコンドームの避妊失敗率は15%に対して「IUS」の失敗率は0.1%です）

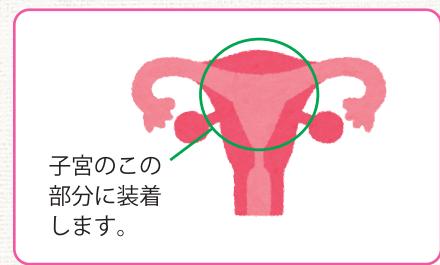
過多月経や月経困難も解消された上に、予期せぬ妊娠を防ぐためにもきちんと避妊もできるこの「IUS」医療器具は、来院されてから外来診療時間に挿入でき、忙しくてなかなか入院治療ができないお母さん世代の方に好まれています。

コスト的にも、健康保険3割負担で約1万円ちょっと。5年間使用できるという点も嬉しいですね。

子宮内黄体ホルモン放出システム「IUS」



写真①
「IUS」医療器具



子宮のこの部分に装着します。



過多月経、月経困難でお困りの方は
お気軽に是非一度ご相談くださいね。

産婦人科医長：宮川

